

埼玉労働山

埼玉県勤労者山岳連盟機関紙 発行:武笠真次 編集:青木正
〒336-0011さいたま市浦和区高砂 4-1-5 ふじビル2階

〇八年度クリーンハイク 奥武蔵で実施 登山道のゴミは減ったが・・・!

本年も県が提唱している「ゴミゼロ県民運動」に連動して六月一日(日)に清掃登山を実施した。

当日は天候に恵まれ晴天の中、クリーンハイクの参加は埼玉労働山三十団体の内二十二団体(前年二十二団体)、会員六百三名の内二百四十名(前年二百六名)で、ゴミ回収量は総計百七十二kg(前年二百五kg)であった。参加団体数は前

年と同じであったが、参加者は前年比百十七%で会員の意識高揚によるものと思われる。

清掃登山は県下を四ブロック単位(西部・南部・中部・北部)に清掃対象山域を分けて行動した。ゴミ回収量は前年比八十三%で登山者のモラル向上が年々、減少傾向にある。ただ、そのゴミの放置場所は登山道から離れた坂等にあり回収作業に手間取る場面があった。

本年もクリーンハイク用に作製されたノボリや腕章・ゼッケンを見せて登山中に出会った一般登山者に啓蒙活動を行った団体もあつた。逆に、ゴミ回収中にぶらさげているゴミ袋をみて地元主催のマラソンの参加者から激励の声をかけられたことがありました。

又、今回、参加団体の中にはゴミ回収だけでなく、登山道の水場の水質を調査したり、植生調査や飛来し

ている蝶の学習をする等自然保護活動や環境問題に取り組む団体もあつた。

今後このクリーンハイクの意義徹底による参加者の拡大と一般登山者への更なる啓蒙活動と共に労働山の「自然保護憲章」に謳われているように一歩踏み込んだ水質・土壌調査や生態系の観察等自然保護や環境問題について各団体・ブロックで身近なところから具体的な活動を一歩ずつ取り組まれることを望みます!!!

「南部ブロック」 南部ブロックのクリーンハイクは外秩父・丸山を中心に実施しました。当日は西武秩父線・芦ヶ久保駅に集合、暑いぐらいの好天気で参加者は総勢三十九名でした。準備体操やゴミ袋の配布をした後、九時二十分に出発し、コーラス広場、高篠分岐を通過して、丸山に向



南部B 芦ヶ久保駅にて



西部B 西吾野駅で全体集会の様

と辿り横瀬駅までのコースでした。横瀬駅前でゴミの分別と計量を行い全体で十二袋(三十六kg)ありました。集めたゴミは横瀬町役場へ持ち込み、処理をお願いしました。今回のコースは果樹公園や民家があるためか、全体的にゴミの散乱は少ないと感じました。

横瀬駅での解散は十七時近くになり、皆さん長いコースで疲れたのか、温泉は諦めて帰路につきました。お疲れ様でした!

三郷山の会 八木原(記)

「西部ブロック」 山遊会ピスターリ(十一人参加) 寺澤

コースは吾野駅 東郷神社 小床峠 イモリ山 森坂峠 西吾野駅です。

吾野駅から神社入り口までの間は、ビニール類やビール缶、タバコの吸い殻等のゴミが落ちていました。しかし山の中はゴミがほとんど無く、探さなければ見つけれないくらいでした。ヒトリシズカ、フタリシズカの花が咲いていて、とてもいい気分が鑑賞できました。ゴミの量は缶類レジ袋一つ、可燃物レジ袋一つ、ペットボトル一本でした。



新座山の会 久保 典子 会ではPRも考え、腕章と会のブルーのユニフォームを着て参加しました。二十三名の集団移動は、往復の電車や登山道から「ごころうさま」と、嬉しい声をかけていただく等、効果抜群。また、感心したのは、会の先輩方は吾野駅から顔振峠に着くまでに、三つ四つのゴミ袋を両手に持ち、さらに四時間近く歩き、西吾野駅に到着した事でした。

自然保護担当 杉江 勲

遭難防止・安全教育

委員会報告

担当理事：若木、徳重、尾手、長谷川

六月二十二日(日) 午前十時～十二時

大宮・さいたま市民会館にて行われました。

参加者：十五団体、理事十四名、委員十七名、宮崎氏(登攀クラブ岩つばめ)計三十二名。

1 登攀クラブ岩つばめ 宮崎氏より四月五日～五月二十五日に米国アラスカにて山行中マツキンリー、カシンリツジ登攀中に遭難事故に遭われた登攀クラブ岩つばめ山田達郎氏の事故報告がなされました。

2 ヒヤリハット報告集 作成に向けて六団体十件より提出されたヒヤリハット報告書からハイジアルペンクラブより提出された南アルプス鳳凰三山での出来事、ハイキングクラブ上里より提出された八海山での出来事二件、計三件を埼玉県連救助隊長徳重氏にピックアップしてもらい提出者より計画、状況、行動中での出来事を説明してもらい各委員より意見を出し合い議論

してもらいました。そのなかで各委員より体調不良、トレーニング不足、行動遅れ、時間の遅れ、断れないリーダー、夏の山行中の水分補給、スリング、カラビナ、ロープの使用方法を熟知、等の意見が出されました。

遭難防止・安全教育委員 会では今回の試みは初めてなのでこれらをもとに遭難原因、登山行動の問題点を含めた評価をヒヤリハット報告集に作成したいと思っています。

ヒヤリハット報告書は適宜、遭難防止・安全教育委員会まで提出して頂きたいと思っています。

2008.06.30 遭難防止・安全教育委員会

第一回評議会報告

六月二十二日(日)

午後一時～ さいたま市民会館おみや

議題

● 五月十六日全国連盟会議報告

● 労山新総合戦略について

● クリーンハイク報告

● 遭難防止・安全教育担当者会議報告

● 四十周年機関紙配布

● 女性委員会交流集会

年間事業予定

経験交流集会

● 第二部として栃木県勤労者山岳連盟『野木山想会』会長、事務局長を招き、会の組織の現状、運営方法、活動状況を紹介していただきました。

設立は一九八八年六十名から始まり現在は百五十名。(平均年齢60、85歳) 山行回数も現在では例会山行が十二回から百五十六回とますます盛んになってきました。会の基本方針は、みんなで創る野木山想会「一人一役」、自然を大切に、安全で楽しく豊かな山行」を

目指して、会員間では「気配り」、「思いやり」を大切にしたい、落伍者を作らない、弱い人を助けるようにしています。

山想会ではランク制を採用し山を設定、会員にも基本的に自己申告で設定し、上ランク者に対しては講師、アシストなどの協力要請をしています。また、講習会や学習会など研修システムが確立しています。

会員拡大としてはホームページ作成・勧誘のチラシ配布・公開ハイキング等を行い、会の総合力向上と活性化を図っています。また会

員には入会時に名刺・ワッペンが配布され、他の登山者へ会のPRやアピールもしているそうで、貴重な話をたくさん紹介していただきました。参加された会の方も今後にも多くの参考となった経験交流集会でした。

第4回理事会報告

六月二十五日(水)

市民支援センター(浦和駅パルコ9F)で理事十三名・オブザーバー1名参加

記録・杉江 委員会等活動経過報告・計画予定

【全国連盟活動】

・七月十二日(土) 十三：〇〇～十八：〇〇

全国連盟事務所「第3回 労山中央登山学校 指導者セミナー」が開催。参加を

【事務局】・上福岡山なみ HCから労山カード申請

(8名分)有り。

・事故一報：岩つばめから 2件・・・マツキンリー

廻目平

・次回三役会議：7月3日(木)

【財政】 ・連盟費23団体入金済み(内13団体年間分入金)

【ホームページ】・実務担当依頼文書を作成した。

【女性委員会】・全国女性担当者会議(6/28～29)・・・

長谷川、廣岡理事参加。

・第十回東日本女性登山交流集会(7/11～12、岩手・

雫石)の案内を次号の機関紙に掲載する。

【救助隊】・9/5役員会開催・・・隊員十名+今井前隊長・佐藤副理事長参加、

・7/14 机上学習(19:00～21:30 労働会館) 7/26

～27 実技訓練

【登山学校】・9/30運営委員会・7/5登山と運動生理」

机上、7/6「登山と運動生理」実技

【岩ネット】・7/13日和田山岩場 高麗駅9時集合

ブロック会議・次回会合・・・西部6/11、南部

7/17 中部9/17

【議題】

1. 第一回評議会(6/22 13:00より)の総括について

経験交流集会：野木山想会(栃木)の会長・事務

局長から 会の組織の現状・運営方法、会の活性化と会員拡大等の報告について

各理事・・・非常に参考になったので、各会でヒントにして取り組んで行く事を確認した。

2. 遭難防止・安全教育担当者会議(6/22 13:00より)の総括について

・マツキンリー事故報告について：埼玉労働山の機関紙にも掲載する。

・ヒヤリハット報告について：提出された10事例のうち3事例を当日意見交換したが有意義であった。今後、資料の取扱や進め方を検討する。

3. 関東ブロック役員交流集会について

・日時・場所：〇八年九月六日(土)～七日(日) 秩父吉田・元気村

・早急に関東ブロックの県連宛に案内文書を送付して出席者の確認をする。

4. その他

・年2回開催する評議会の位置づけ(日時、内容等)を検討する。



救助隊だより

「埼玉労山救助隊って何だ?」と思われる方へ。今回は救助隊活動のもう一つの柱、遭難防止とセルフレスキューについてです。

遭難事故はヒューマンエラーと人間が自然の中の危険・不安定要素を感じたり、予測したりする能力が脆弱になっているところから発生しているのではないかと考えています。救助隊は、これらを遭難防止安全教育委員会・登山学校と連携しながら啓発活動していきたいと行動しています。救助隊員がセルフレスキューの方法を確実に学び、会員の皆さんに正確に伝える。こんな活動も重要です。セルフレスキューの基本は、今あるピンチをそれ以上拡大しない、できれば安全な方向へ仕向けることとなります。

例えば、登山中メンバー

の一人が発熱疲労で行動不能となりました。悪天候でヘリコプター飛ばず。こんな時、ツェルト・コンロ・小コップ・水・非常食が有ればビバーク態勢がとれます。そして遭難者を保温、あたたかい飲み物を与え落ち着かせることが出来ます。薬品の投与については本人の判断に任せます。

皆さんに問いかけます。「この状況下で、あなたは遭難者を背負い、3時間行動する体力・技術・勇気がありますか?」また、ハイカーでも登山者でも、二子山・妙義山・槍ヶ岳・剣岳など岩場の山に登りたがります。その時、簡易ハーネス・シリリング・カラビナ・補助ロープの使用を適切にこなせれば、安全性は格段に高まります。ロープの結束は正確・確実に覚えなければなりません。そうでないと自身またはメンバーに重大事故をおよぼします。書いてある当人がロープの結び方を間違えて仲間に重傷を負わせてしまった事がありま

「山仲間が困っていた

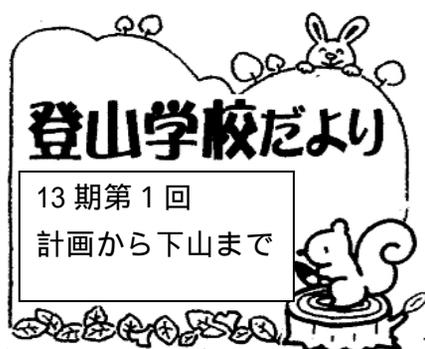
ら、助けたい。セルフレスキューを習い、より安全登山をしたい。」心あるあなたへ、埼玉労山救助隊へ入隊を勧めます。

随時募集。

問い合わせ先:

- 若木 090 8804 4188
長谷川 090 5398 1008

徳重理事記



登山学校だより

13期第1回 計画から下山まで

登山学校 計画から下山 大小山に登って

今日は、登山学校第一回目の実技講習です。天気予報も午後から雨マークでしたが青空の下を歩くことができました。ほっとして元気でました。栃木駅で両毛線に乗り換えると、大宮集合の皆様と合流でき嬉しくなりました。富田駅からは、一班5~6人の編成で3班に分かれての行動でした。出発前に班長から、地形図とコンパスの使い方について

て指導がありました。が、手にするのも使うのも初めて。何となく納得した感じで地形図とコンパスを手に十時十分に歩き始めました。途中で、頂上付近の岩場に掲げられている大小山のシンボル大と小の文字が望めました。

阿夫利神社に祀られている大天狗の大、小天狗の小の文字、無病息災を願って掲げられているとのこと、私も安全を願いました。大小山はアップダウンや急斜面の岩場あり、ロープや鎖場ありと変化に富んでいて楽しかった反面、気がぬけず緊張もしました。また山頂からの展望もよく関東平野の水田を十分堪能しました。前日に受けた学習、登山道の状況に応じた歩行を思い浮かべながら歩きました。帰りの電車内も最高でした。ビール、おつまみを手に話が尽きず笑い通しました。本当に楽しい一日でした。

三郷山の会 佐藤幸子



全国女性担当者会議報告

六月二十八日(土)~二十九日(日)の二日間にわたる登山事務所にて、全国女性担当者会議が行われ、青森から沖縄まで28県28名、全国女性委員の名、川嶋事務局長の参加がありました。埼玉では女性委員の廣岡美恵子さん(山遊会ピスター)と、私の二名が参加。

全国や各県連の活動が報告され、セミナーや講習会、ヒヤリハットをもとに検証を行なうなど事故を起こさない活動が各地域で活発に行われています。

「委員会をどう続けたらよいか」「若い人にどう引き継いだらよいか」などの悩みも出され、「セミナーを全国で展開していく」「小さい会や県連をバックアップする為に」ブロック活

動を強める」など話し合われました。

大阪府連女性委員会作成の「これなら出来る(搬出法・応急手当)」冊子を新しくしているの古い冊子は使用せず、一冊二五〇円で郵送するのでそのつど連絡くださいと大阪府連の篠原さんより訴えがありました。十月に開催される東日本女性登山交流集会の取組や、来年のプレ50周年「80年女性のためのヒマラヤ学校」の企画も報告されました。

初めて沖縄から若い方が参加され、「ハブ咬傷対策・救急法学習会」の開催や、ハブに遭わないために先頭が棒を振り回しながら山行をしているなど地元ならではの話に皆興味津々。とても元気が貰える会議でした。

女性委員長 長谷川貞子 (所沢ハイキングクラブ)



第10回東日本女性登山交流集会inいわて

主催：日本勤労者山岳連盟女性委員会主管：岩手県勤労者山岳連盟

2008年10月11日(土)～12日(日)

◆ 岩手県雫石町鷺宿(おうしゅく)10-75-2

☎ 019-695-2311 FAX 019-695-2629 <http://www2.ocn.ne.jp/~haitu33/>

募集人員 100名 (男女の性別は問いません。男性の方の参加大歓迎！)

<埼玉女性委員会計画>

10日(金)22時出発、13日朝6時着バスで参加。

参加費3万5千円(参加費の1万2千円、バス代、12日の昼と夕食、風呂代込み。参加人数により変更あり)

早池峰山のし尿汲み取り体験に参加します(移動が難しい為)。他のコース希望があれば相談下さい。

締め切り8月10日。

全体集会予定 10月11日

講演会 午後1時～4時 テーマ 「女性とスポーツ環境」 石田 良恵先生 女子美術大学名誉教授

経験交流(午後4時～4時45分)司会 藤元理津子 夕食と交流会 (午後6時～8時30分)

10月12日(日) 交流登山 1早池峰山 2岩手山ピストン 3岩手山縦走 4鞍掛山

詳しくは

連絡先 長谷川貞子(所沢HC) TEL 090-5398-1008 Eメール hasegawa-tyk@tbb.t-com.ne.jp

廣岡美恵子(ピスターリ) TEL/FAX 049-243-3445

中央登山学校第9回全国ハイキングリーダー学校

目的：安全にハイキングを行なう為には、多くのリーダーを養成することが求められています。多様なハイキングの実現の為に、会員に見合う大量のハイキングリーダーを育てる必要が有ります。ハイキングリーダー学校を修了した受講者が講師となって地方連盟や、単位組織(会やクラブ)でハイキングリーダー養成の活動を推進することを目的としています。参加対象は、地方連盟、クラブや会の役員及び意欲ある会員、組織外参加も可能。

参加費：20000円(2泊5食宿泊費、資料、懇親会費、)13日と15日の昼食は含まず 日帰り参加は2000円。

定員：50名 (日帰りは含まず)宿泊受講者は定員になり次第締め切ります。

申込先 岡山県勤労者山岳連盟 岡山県勤労者山岳連盟・理事長

日時：2008年9月13日(土)13時～15日(月)14時 2泊3日

主催：日本勤労者山岳連盟(ハイキング委員会担当) 主管：岡山県勤労者山岳連盟

詳しくは日本勤労者山岳連盟ホームページまたは埼玉県連、各会事務局まで (全国連ホームページより)

みんなの歌 アルプス一万尺 原曲はアメリカ民謡、作詞者は不詳です。

- (1) アルプス一万尺 小槍の上で アルペン踊りを さあ踊りましょ
ランラララ ラララ ランラララ ラララ ランララララララ ランランランランラン
- (2) お花畑で 昼寝をすれば 蝶々が飛んで来て キスをする(繰り返し)
- (3) 一万尺に テントを張れば 星のランプに 手が届く(繰り返し)
- (4) 槍や穂高は 隠れて見えぬ 見えぬあたりが 槍穂高(繰り返し)
- (5) 命捧げて 恋するものに 何故に冷たい 岩の肌(繰り返し)
- (6) 岩魚(いわな)釣る子に 山路を聞けば 雲のかなたを 竿で指す(繰り返し)
- (7) ザイル担いで 穂高の山へ 明日は男の 度胸試し(繰り返し)
- (8) 名残尽きない 大正池 またも見返す 穂高岳 (繰り返し)
- (9) まめで逢いましょ また来年も 山で桜の 咲く頃に(繰り返し)

編集後記

今年度になってから原稿が少しづつ増えてB42枚の月が目立つ。うれしいような悲しいような。相変わらず県連中央の報告が占めているのが。埼玉労山が積極的に活動している証なのだからこちらも頑張つて作らなくっちゃ。

7月第1週に秋田は森吉山に行ってきました。温暖化のせいとお花畑のチングルマほとんど咲き終わり北斜面に少し残っていただけでした。ピンクのウラジオヨウラクとイワカガミ、たくさん黄色いニッコウキスゲには男の僕でもうっとりしてしまいました。東北の初夏は最高でした。もうすぐ梅雨も明けるかな?夏山本番ですが皆さん計画と行動は是非気を付けてくださいね!

さて来月号は救助隊沢の搬出訓練、岩ネット報告、登山学校2他。各会の夏山登山行等も是非お待ちしております。8月は1日原稿締め切り、4日印刷予定で頑張ります。担当者の方、原稿・協力をお願いします。

(アオ)